

令和8年度 事務事業評価シート（1）
[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	イノベーション創出促進事業				事業番号	015-053	
担当部署名	産業振興局	局	産業戦略部	部	地域産業創造課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4)成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出
			有	取組の方向性	②中小企業による新事業の創出		
		寄与するKPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025		有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)	目標値	100件(2021～25年度の累計)
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.3
			有	取組	創業準備のサポートと創業間もない企業の成長促進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	女性の就業率		
			有	現状値	50.1%(2022年度)	目標値	55.0%(2025年)
2	関連計画			堺産業戦略			
3	事業開始年度			令和 4 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度	
4	実施根拠			—			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市内外のスタートアップやベンチャー企業、中小企業等				対象数	単位
		—				—	—
7	事業の目的	堺・中百舌鳥の持つイノベーションのポテンシャルを広く周知し、域外へのイノベーション発信、域外からのイノベーション流入を促進し、人の交流、コトの創出を活性化させ、イノベーションのスパイラルを生み、イノベーション創出拠点の設置に向けた下地づくりを行う。					
8	事業内容	○イノベーション創出事業 地域課題の解決や社会に対する新たな価値の創出、さらには、経済的な成長をめざすインバクトスタートアップに対し、社会課題の認識や解決に向けた手法の解像度向上のほか、取組を進める上で必要な経営知識の取得や人的ネットワーク等の活用を支援する。 ○アントレプレナーシップ教育事業 連続的なイノベーション創出に向けては将来のイノベーション創出を担うこどもたちを対象とする。 教育プログラムを通じて、積極性やリーダーシップなど非認知能力への気づきを促し、アントレプレナーシップの醸成を図る。 ○さかいスタートアップアクセラレーション事業 社会課題解決型ビジネスに取り組み、更なる市場拡大や事業成長に挑戦する意欲のある事業者を対象に、成長段階に応じて販路開拓や資金調達、事業プランの見直し・改定等の伴走支援を行う。 ○業務系機能集積促進事業補助金 新しく事務所を開設した事業者又はイノベーション創出関連事業の支援を受けた事業者が都心地域、中百舌鳥地域に事業所等を設置する場合の経費の補助及び中百舌鳥地域にオフィスを整備する場合の経費を補助する。 ○大阪公立大学連携事業 大阪公立大学及び同学と連携している大手企業等との産学連携、産産連携の企画等に取り組む。 ○ガバメントクラウドファンディング 社会課題解決型ビジネスに取り組むスタートアップ・ベンチャーに対し、主に事業の初期段階における資金調達の選択肢を整備することで、インバクトスタートアップ等の持続的な成長、ひいては社会課題解決に向けた取組を支援する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	—					
10	公民連携・協働事業	スタートアップ・ベンチャー企業、大阪公立大学、学生等と連携し、イノベーション創出事業が生まれ始めている。					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標		単位	実績		目標	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
11	イノベーション創出につながる事業数（累計）	件	目標値	75	100	124	230
			実績値	80	109		
			達成率	107%	109%		
	当該指標を選定した理由		堺市基本計画のKPI指標の一つであり、令和3～12年度の累計で230件を目標とする指標である。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市基本計画に掲げる目標値。点検年度における目標値は令和3～7年度の累計値。					

活動指標		単位	実績		目標		
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
12	社会課題解決等のロールモデル創出件数	件	目標値	10	10	10	
			実績値	10	9		
			達成率	100%	90%		
	当該指標を選定した理由		堺市基本計画のKPI指標である、「イノベーション創出につながる事業数」の達成に寄与する主な取組指標である。（KPI戦略シート）				
目標値の設定根拠・算出方法		KPI戦略シートにおけるKPI達成に寄与する主な取組指標。点検年度における目標値は令和3～7年度の累計値。					

令和8年度 事務事業評価シート (2)

事務事業名	イノベーション創出促進事業	事業番号	015-053
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト				※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)					
13	財源内訳	項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
				決算		決算		当初予算	決算	当初予算			
	事業費 (a)		64,875		51,830		78,095		64,083	32,800			
	国支出金		13,662		17,049		21,000		21,000	11,000			
	府支出金		0		0		0		0	0			
	市債		0		0		0		0	0			
	その他 (国庫交付金等収入金、地方交付金、企業振興交付金等)		42,112		20,900		24,475		20,670	16,828			
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0	0			
	一般財源		9,101		13,881		32,620		22,413	4,972			
14	人件費 (b)		10,530		10,530		10,920		10,920	13,398			
15	年間経費 (c)=(a)+(b)		75,405		62,360		89,015		75,003	46,198			
事業費の内訳 (単位：千円)													
16	事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
		イノベーション創出促進事業委託料		R7	決算	5,278	0	大阪公立大学負担金		R7	決算	3,000	1,500
				R8	予算	6,000	0			R8	予算	3,000	1,500
		アントレプレナーシップ等育成事業		R7	決算	1,518	0	ガバメントクラウドファンディング【新規・拡充】		R7	決算	0	0
				R8	予算	3,000	0			R8	予算	2,500	0
		イノベーションPR事業委託料		R7	決算	4,840	0	会計年度任用職員報酬等		R7	決算	0	0
				R8	予算	5,000	0			R8	予算	3,222	3,222
		さかいスタートアップアクセラレーション事業		R7	決算	6,555	0	その他		R7	決算	22,229	250
				R8	予算	7,000	0			R8	予算	3,078	250
		業務系機能集積促進事業補助金		R7	決算	20,663	20,663			R7	決算		
				R8	予算	0	0			R8	予算		

IV. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	イノベーション創出につながる事業数	件	24	29
	②	上記①にかかる年間経費	千円	62,360	75,003
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,598,333	2,586,310
	算出についての説明等				

V. 評価

費用対効果に係る所見				
18	社会課題解決型プロジェクト創出事業では8事業者のビジネスモデル策定支援や成長のためのネットワーク構築を支援し、また、ストーリーシートでは6件のイノベーション事例の記事を作成し、情報発信を行った。アントレプレナーシップ等育成事業では、小学5年生から中学2年生までのこどもたちに対しアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成等をはかるプログラムを実施し、7名が参加した。実施後のアンケートでは「自分で考えて動くこと」への肯定的な回答が85%、「将来自分でお店やサービスを作りたいか」への肯定的な回答が72%にのぼり、継続して自らのアイデア実現に向けたプロジェクトに取り組むことが現れるなど、次代のイノベーター育成に向けて一定の成果をあげている。本事業は企業版ふるさと納税等の寄附金活用による事業であるため、費用対効果は非常に高いと言える。			
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）				
19	令和6年度に引き続き、社会課題解決型プロジェクト創出事業では、地域社会に新たな価値を創出するビジネスモデル策定支援や成長のためのネットワーク構築を支援し、新事業創出などにつなげている。また令和7年度は、令和5年度から実施している市内事業者の商品やサービスを体験してもらう小学生向けイベントに加え、これまで試行実施していたアントレプレナーシップ等育成事業を小学5年生から中学2年生までのこどもたちを対象として本格的に実施した。本事業はKPI等の数値目標に直接寄与するものではないものの、将来の企業家を育成に資する事業を実施することは今後の継続的なイノベーション創出に不可欠となる。 イノベーション交流拠点「cha-shitsu」の令和7年度利用者は延べ約8,100人で、令和5年10月のオープン以来、累計約18,200人が施設を利用し共創事例も生まれつつある。社会課題解決型プロジェクトは、「堺市基本計画2025」のKPI「イノベーション創出につながる事業数」に直結しており、KPI等へ寄与しているものと考えている。 今後は、こどもたちを対象とした次代のイノベーター育成をはじめとして、アイデア段階から地域課題解決に向けた社会実装まで適切に支援できるようつながりを意識して取り組むことで、継続的なイノベーション創出を促進する。			
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）				
20	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 必要性 ☒ 高い ☐ 低い </td><td rowspan="2"> 本事業は令和4年度から開始しており、主に社会課題解決に挑戦する事業者や事業成長・販路開拓をめざす事業者の支援などを実施し、これまでに多くの共創や実装の事例が生み出されてきた。これらの取組は、KPIに直結するものであり、新たな価値の創造や社会課題解決によるイノベーション創出において非常に重要な取組であるといえる。また、次代のイノベーターを育成する取組は将来にわたってイノベーション創出に挑戦する人の母数増に寄与し、イノベーターのエコシステム形成においても有効であり、引き続き複合的に事業を実施する必要がある。 </td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 有効性 ☒ 高い ☐ 低い </td></tr> </table>	必要性 ☒ 高い ☐ 低い	本事業は令和4年度から開始しており、主に社会課題解決に挑戦する事業者や事業成長・販路開拓をめざす事業者の支援などを実施し、これまでに多くの共創や実装の事例が生み出されてきた。これらの取組は、KPIに直結するものであり、新たな価値の創造や社会課題解決によるイノベーション創出において非常に重要な取組であるといえる。また、次代のイノベーターを育成する取組は将来にわたってイノベーション創出に挑戦する人の母数増に寄与し、イノベーターのエコシステム形成においても有効であり、引き続き複合的に事業を実施する必要がある。	有効性 ☒ 高い ☐ 低い
必要性 ☒ 高い ☐ 低い	本事業は令和4年度から開始しており、主に社会課題解決に挑戦する事業者や事業成長・販路開拓をめざす事業者の支援などを実施し、これまでに多くの共創や実装の事例が生み出されてきた。これらの取組は、KPIに直結するものであり、新たな価値の創造や社会課題解決によるイノベーション創出において非常に重要な取組であるといえる。また、次代のイノベーターを育成する取組は将来にわたってイノベーション創出に挑戦する人の母数増に寄与し、イノベーターのエコシステム形成においても有効であり、引き続き複合的に事業を実施する必要がある。			
有効性 ☒ 高い ☐ 低い				